



夢をかたちに

RI テーマ

会報

クラブ 会長テーマ

『人の和・縁を大切に「なかま」との楽しいふれあいを』



2008-11-5 第 856 回例会 NO. 19-15 2008-11-12 発行

◎司会 宮村 宏

◎点鐘 会長 伊澤ケイ子

◎国歌斉唱 ・ ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 伊澤ケイ子

多摩消防署 三浦 弘直 様

東京多摩RC 小林 誠治 様

〃 長谷川鈴江 様

岡山西南RC 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 伊澤ケイ子

1. 本日理事会で会員候補者 3 名（配布資料）の推薦を承認、異議は 1 週間以内に文書にて提出下さい。
2. 10 月 30 日、役員理事 6 名で富士見 RC を表敬訪問。
1 万 4 千坪の庭園の「白林荘」（犬養毅首相の別邸跡）素晴らしい紅葉の中で歓迎して頂きました。お互い友好関係をゆっくりと育んで行こうということにしました。今後、先方からも訪問があると思います。交換したバナーを披露します。
3. 関岡増強委員長から、会員に誘いたい人を例会に招待しようという企画提案があり承認しました。

◎幹事報告 幹事 小田 良生

1. 11 月 12 日（水）は元々定款休会でしたが、夏の花火例会中止の振替として例会があります。お間違えのない様、ご出席をお願いします。
2. 配布資料
*ロータリーの友 *HP 立上げ関連資料
*新入会員候補のお知らせ
*障がい者テニススクール実施委員会組織他

【委員会報告】

◎出席報告 出席奨励委員会 海野 榮一

会員総数 35 名
出席義務者数 34 名（出席免除者 1 名）
出席者数 27 名

欠席者数 7 名（事前 MU 1 名を含む）

出席率 80.00%

10 月 22 日 最終訂正出席率 74.29%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 中谷 紘子

伊澤ケイ子 多摩消防署予防課長・三浦様、本日の卓話宜しくお願い致します。

小田 良生 三浦予防課長様、宜しくお願い致します。

足立潤三郎 三浦予防課長様、本日はご苦労様です。卓話宜しくお願い致します。楽しみにしています。

大松 誠二 富士見 RC の暖かい歓迎と見事な紅葉に感激しました。

遠藤 二郎 予防課長三浦様、ご多忙の所ありがとうございます。卓話宜しくお願い致します。

萩生田茂夫 多摩消防署予防課長様、御多忙の折卓話ありがとうございます。

猪股 末男 元気になりました。今後ともどうぞよろしく願いします。

伊藤 英也 多摩消防署予防課長・三浦様、卓話宜しくお願い致します。

岩野 京子 多摩消防署予防課長・三浦様、本日の卓話宜しくお願い致します。

加藤喜三郎 多摩消防署予防課長・三浦様、卓話楽しみです。

菊池 敏 多摩消防署予防課長様、卓話よろしく！

小泉 博 お客様ようこそ！ 障がい者テニス、皆さん宜しく願いします。

宮村 宏 小泉さん、祝日にもかかわらずお世話になりました。猪股さんお久しぶりです。

杉野志保子 紅葉が素晴らしくなってきましたね！

海野 榮一 皆さんお久しぶりです！

中谷 紘子 紅葉が美しくなりました。猪股さんお元気でよかったです。

富士見 RC もみじ例会に行ってきました。

本日の合計¥25,500 (累計¥279,345)

＜その他委員会報告＞

◎HP 作成・立上げ委員会

海野榮一 委員長

前回例会後及び29日の委員会開催に基づき、HPのメニュー、各人担当エリア、担当エリアキャップなど立上げについてのレジュメを配布してあります。建設的アイデアを期待しています。前回例会欠席の方も何らかの担当者になっていきますので宜しくお願いします。

◎会員増強委員会

関岡俊二 委員長

10月21日のキャラバン隊キャップ会議で以下2点を確認しました。目標は40名です。頑張りましょう！

*各会員が推薦状を上げる。

*相応しい方を例会に招待して体験してもらう。

案内状を作成しましたので活用して下さい。

◎障がい者テニススクール

小泉 博 実行委員長



いよいよ27日です。

こんなポスターが出来ました。市内30箇所に掲示してあります。今まで参加された方に案内して、現在12名の参加表明があります。

今後の経緯を見て会員の皆様にも参加者募集に協力願うかもしれません。事業所などにポスターを掲示いただける方、お知らせ下さい。役割担当表をお手元に配布してありますので、当日は宜しくお願いします。

◎RLI研究会参加報告

小泉 博

ロータリー・リーダーシップ研究会、10月25日開催されました。国際レベル、地区レベルに比べ、クラブレベルでのロータリー研修の機会が少ないということ、そのためにロータリー理解がなされぬまま退会に至るケース、活性化が進まぬという状況があるという認識のもと、各クラブ若手の優秀な？ロータリアンによる研究会がなされたという訳です。10人程度のグループ単位に分かれて自由討議を行ない、ロータリーに対する理解を深めようという企画でした。

詳しくは後日、赤尾会員より説明があるはずですが。

◎次年度理事指名委員会

足立潤三郎委員長

本日第2回目の委員会を開催いたします。

◎卓 話『事業所に於ける防火防災対策』

多摩消防署 三浦 弘直 様

消防の予防課長とすれば本来ならば、建築物の防災などについての話をすべきところですが、つい最近まで私は東京消防庁の救急部で救急対策に当たっておりました。そこで本日は、社会問題化して来ている救急車



の受入問題などに関する将にホットな東京消防庁の動きなどについてお話したいと思います。

実はこの問題は以前から指摘されているところで、東京消防庁でも医師会や専門家と組んで実際の対策組織を構成して活動し、研究しております。この問題の根底には、救急車出動要請の中に実際には緊急必要のないものが相当数含まれており(38%程度)、逆にそれ以上の件数で緊急必要性がありながら、救急車出動がなされていない～出来ていないという実態があるのです。昨年6月から東京消防庁では、2つの大きな取り組みを始めました。1つは、東京消防庁救急相談センターです。あと1つは救急搬送トリアージです。

*救急相談センター：Tel. #7119 では、救急通信員(救急隊員OB)・救急相談看護師・救急相談Dr.が365日24時間体制で待機しています。電話をするとまず通信員が対応し、時間と症状に応じた病院を案内、状況に応じて看護師が替わって相談に応じます。相談は同時に待機Dr.が傍受していて、内容次第でDr.が替わります。救急搬送が必要と判断すれば救急車を出動させ、症状によって明朝まで待っても大丈夫とか、採るべき対処を案内します。

責任重大かつ利便性の高い、この制度が間違いなく適切に運営されるために、東京消防庁・東京都保健局・東京都医師会・大学病院の救急医療専門研究医の4者による運営協議会を構成し、月1回の真剣な協議を行いながら運営しています。是非とも活用して下さい、電話#7119です。

*救急搬送トリアージ。これは現場急行した救急隊による判断で搬送拒否あるいは自力通院を勧めて納得されれば搬送しないで帰着することが出来るという制度。実際には拒否は非常に稀です、これは判断違いによる責任の重大性、又は実際には断りにくいという実状よりです。ただこの制度の目的は実際に出動回数を減じることよりも、皆のものである救急資源、医療資源を大切に利用するという、市民の意識改革なのです。

以上、東京消防庁の最近の動きをご説明致しました。制度の充実のため、是非ともご理解とご協力をお願い致します。

◎点鐘

会長 伊澤ケイ子

(今週の担当 宮本 誠)